

令和5年度第1回大垣市障がい者の暮らしを支える協議会議事要旨

令和5年6月27日(火)

13:30～14:45

大垣市役所8階 大会議室

出席者:24名 欠席者:3名

1. 健康福祉部長あいさつ

2. 令和5年度 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 各部会の年間計画 (各部長より説明)

- ・ 各部会の開催予定日、テーマ、目的、協議事項、対象者等の年間計画

【質疑・意見】

意見・質問等なし

3. 障害者就労施設等からの物品等の調達について (事務局より説明)

- ・ 令和4年度の実績および令和5年度の調達目標について
- ・ 調達の推進方法について

【質疑・意見】

意見・質問等なし

4. 障害者差別に関する相談事例や合理的配慮事例の報告について (事務局より説明)

- ・ 障害者差別解消法に関する相談事例や取組状況の報告
- ・ 合理的配慮事例の報告

【質疑・意見】

意見・質問等なし

5. 大垣市障がい者総合支援プランについて (事務局より説明)

- ・ 令和4年度事業実績および令和5年度事業計画の報告

【質疑・意見】

- ・ 地域移行支援サービスについて、計画相談の毎月のモニタリングの中で基本的には対応できているため、これまでに地域移行支援サービスを使ってという事例がない。
- ・ 成年後見制度法人後見支援事業というがあるが、西濃地域において事業展開している団体等はあるのか教えていただきたい。
→ 市内では1か所実施している団体がある。
- ・ 成年後見の事例が出てきた場合には、実施団体に直接連絡をとって相談しても問題ないか。
→ 問題ない。ただし、相談内容によっては団体の方で受けることができない場合もあるので、その際は市から別に紹介することは可能である。
- ・ ライフサイクルの中で、小学校入学前の段階～高校まで環境が変化していく過程の中で、障害福祉サービスをつなげていく際に何か困っていることなどの意見はあるか。
→ 強度行動障がいの、行動に問題があるお子さんについては、特別支援学校を卒業後、事業所を利用しても馴染めず辞めていくことが多い。事業所側から断られることも多く、サービスを利用することに抵抗を感じてしまう。そこをフォローできるのが居宅訪問型のサービスであるが、手のかかるお子さんであるとどうしても人手が足らなくなる。
- ・ 令和4年度の医療的ケア児者の受け入れ推進実績のところで、療養介護給付費と短期入所（医療型）給付費の実績額が計上されているが、西濃圏域の事業所への支出か。また、利用しているのは西濃圏域の方か。
→ 大垣市民の方が利用された分の給付費を計上しているが、現在、西濃圏域には対応した施設がないため、圏域外で利用された施設に対し給付費を支給している。市内に利用できる施設がないというのは、従来からの本市の課題であると認識している。

- ・ 医療的ケアが必要な方は厳しい状況にあると認識している。医療的ケアに対応した病院に入院できなかつたり、対応した病院であっても空いているところがなく困っている。こういった方達へのフォローが後回しにされているので、本当に困ったときのためのサポートできる体制作りを検討していきたい。
- ・ 障害児福祉計画において、障害児通所支援の令和４年度実績と令和５年度計画のところを比較すると、どのサービスの計画数値も実績に対して大幅に少ないように見受けられる。計画数値の算出根拠があれば教えていただきたい。
→ 現計画の数値については、令和元年度までの実績をもとに令和３年度以降のサービスの伸びを見込んで策定している。結果として、計画数値と実績を比較すると、どのサービスについても大幅な乖離があるため、次期計画については改めて数値の見直しをしていきたい。

6. 日中サービス支援型共同生活援助の報告・評価について

（事務局より説明）

- ・ 日中サービス支援型共同生活援助の事業者への定期評価について委員に依頼